はぐくみネットワーク

社会全体で子どもをはぐくむ運動 広報紙 No.8 平成21年3月号 発行:新潟県地域家庭教育推進協議会

社会全体で子どもをはぐくむ運動では、「子どもをはぐくむ地域づくり」や「身近な地域での家庭教育支援」などをテーマに、地域と連携しながら取り組みを進めており、これまで、地域の大人一人ひとりの活動で、家庭教育支援、地域づくり、体験活動等に大きな成果をあげてきました。

今回は、地域を核にした子育てや家庭教育支援の取り組みのいくつかをご紹介します。

世代間交流による子どもをはぐくむ地域づくり

鮭の料理教室～鮭を通じた環境学習～

～地域の連帯感やきずなを深め、互いに顔の見える地域を育成するために～

川の浅瀬に親鮭を放流し、子どもたちは鮭のつかみ取りを体験。さらに、川原で採卵・受精を行い、容器に小分けした受精卵をそっと小川に放流しました。その後、ボランティアに手伝ってもらい、産卵が終わった親鮭で「鮭の料理教室」を開催しました。参加した子どもたちから、「テレビで見たことはあるけど、本物の鮭を初めて見て感動したよ」「卵がふ化して、またこの川へ戻ってこられるよう、川をきれいにしたいね」などの驚きや感動の声をたくさん聴くことができました。

阿賀町地域活性化実行委員会
連絡先:0254-92-3334(阿賀町教育委員会)

世代間交流農園体験～園芸福祉活動～

～幅広い年代の人たちの参加による園芸福祉活動等の地域活動推進のために～

青空の下、いろいろな世代の人が「種を蒔く～芽が出る～成長する～花が咲く～実ができる～収穫する」というプロセスを楽しみながら作業を行いました。また、完成した花絵と落花生はお土産にもなりました。

NPO法人生き生き企画
連絡先:0258-62-1915(見附市勤労者家庭支援施設ふぁみりあ内)

大曲河川公園と周辺環境の学習会

～河川、周辺地域を活用した世代間交流・様々な学びの場創りを目指して～

燕市とファンクラブが連携しながら、河川公園の維持管理を行うとともに、河川と周辺地域を活用したイベント等を通じ、世代間交流や様々な学びの場の創造を目指しています。「今回参加してみて、公園にすごく愛着を感じるようになった。ぜひ、みんなに参加してほしい」「今まで知らなかった野鳥が観察できて、とても勉強になったよ」などの感想が寄せられました。

燕市大曲河川公園ファンクラブ
連絡先:0256-63-7001(燕市教育委員会 子ども体験活動支援センター)

「はぐくみネットワーク」とは・・・ 社会全体で子どもをはぐくむ運動が新潟県内に広がっていき、地域の一人ひとりの活動や心が結びついていくことをイメージしたものです。

地域全体で、子育てと

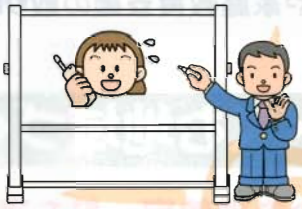
子育てを地域で支える仕組みをつくるために

主に小・中学生がいる家庭に向けて

大人のための学習会

～教育、性教育、メディアコントロールに関する学習会～

子育てにかかわる大人対象の「大人のための学習会」を開催しました。中でも、下田真理子さん（NPO青少年メディア研究協会）の「携帯電話・インターネットの危険性と家庭や学校の役割」と題した講演会は、子どもたちの身近で起きている携帯電話を使ったインターネットによる問題を具体的に示していただき、あらためて学校・家庭・地域社会の役割を考える機会となりました。



城北中学校区子どもを育てる会
連絡先：025-523-7266（上越市立城北中学校内）

親子遊び空間～いっしょにあそぼ～

～子どもの社会性をはぐくみ、親同士のコミュニティの育成を目指す～

各地区の公民館等に何組かの親子が集まり、子どもへの接し方、遊び方を体験することで、子育ての孤立をなくし、子どもの社会性をはぐくむとともに、親同士のコミュニティの育成を進めています。また、このほかにも親子食育講座やボランティアの学習の場を設け、市民の学びあい、支えあいの土壌づくりを進めています。

この取り組みは今後の地域の活性化や連帯に大きな役割を担っていくことになりそうです。

「はぐくみのまちづくり運動」実行委員会
連絡先：025-757-8918（十日町市教育委員会生涯学習課）

乳幼児の親子に向けて

ITを活用した支援もあります

地域SNSを活用した家庭教育支援

7.13水害、中越大震災など災害時にインターネットのブログが大いに活躍したという背景から「長岡地域SNSおこことこーか」が開設されました。

平成20年度からは、長岡市摂田屋上組地域を始めとし長岡全域を対象に「子育てなんでもコミュニティ」を開設しています。実行委員の桑原さんは、「携帯電話しか情報を得る手段がなかったり、引っ越してきて間もなかったりしている家庭にとっては子育て情報を得る有効なツールです。今後は、子育てについて、何でも話せるサイトを目指しています。家庭教育支援者や指導者同士の悩みを書き込めるサイトなどもあってもいいかもしれませんね」と話していました。

問い合わせ：NPO法人ながおか生活情報交流ネット（電話 0258-35-6800）

家庭教育を支えています。

■ 身近な地域で家庭教育支援

六日町小学校家庭教育支援チームの取り組み

～身近な存在「だんぼの部屋」は家庭教育支援の輪を広げる情報発信基地～

六日町小学校家庭教育支援チームは、南魚沼市ＰＴＡ連絡協議会事務局と部屋（六日町小学校）を共有し、六日町中学校区を活動範囲としています。

毎月１回の情報誌の発行、家庭教育支援チーム講座の開催などの活動を行っています。

学校内に拠点を置くことで、児童の保護者との距離が近くなり、保護者が気軽に立ち寄ることができるのもよいところです。また、校長先生、教頭先生を始めとした学校の理解は、家庭教育支援チームへ計り知れない自信と力を与え、活動の支えとなっています。

南魚沼市家庭教育推進協議会
連絡先：電話025-782-0100（塩沢公民館内）

子育てサポーターリーダー養成講座

～地域でつなごう子ミュニケーションの和～

子育てサポーターリーダーとして、地域で活躍できる人材を養成しようと、講座を開催。参加者一人一人真剣に受講しました。

南区での「子育て支援ネットワーク」を推進する大きな一歩となり、子育て、自分育ての楽しさ、苦しさを共感するには、顔を合わせて同じ空間にいることが大切です。養成したリーダーが活躍できるよう、各団体と連携して、ネットワークを維持していく予定です。

白根子ども体験活動支援センター協議会
連絡先：025-372-5533（白根学習館内）

■ 新潟県地域家庭教育推進協議会の取り組み

地域支援者を育成します！

家庭教育サポーターの修了者は累計344名に！

今年で、7年目を迎える家庭教育サポーター養成研修。初めて魚沼市で開催しました。6回シリーズで、基本的な子どもの発達を学んだり、レクリエーションの実技を学んだりして、27名の方が修了しました。

子育て支援に関わる活動をされている方を中心に受講されましたが、回が進むうちに、自分にできる家庭教育支援が見えてきたようです。

参加者の感想

- ★身近な地域で開催されたのでよかった。
- ★専門家の講義を聞いたり、具体的な取組を聞いたりすることができてとても勉強になった。今後に生かしていきたいですね。
- ★全体を通して難しそうだったけど、終わってみれば、「こんなこともできそうだ」と思うこともありました。今後の仕事に役立てそうです。
- ★今後同じ思いを持つ研修修了者と集まったりして活動ができたらいいなと、思っています。

地域で活動をはじめようと思ったけど、どんなことをはじめたらいいのかしら・・・
そんなあなたに活動のヒント！
実際に家庭教育支援の活動をしている方などにお話をうかがいました！

Q 子育ての講座等を企画運営するとき、講師や指導者はどのように選んでいますか？

A 研修などに参加したときに、同じ会場にいた参加者と情報交換したり、講師情報を得たりしています。有名な先生でなくても、身近な地域で活動している方に依頼することもあります。いろいろな場所でのネットワークが大切です。

また、家庭教育サポーターネットの会の会員に依頼したり、県立生涯学習推進センターのラ・ラ・ネットや学習相談を利用したりするのもよい方法だと思います。

（連絡先：県立生涯学習推進センター☎025-284-6110）

第２回家庭教育支援チーム交流会の様子

第3回家庭教育支援チーム交流会の様子

Q 他の機関とは、どのような連携方法がありますか？

A 小さな情報の共有が連携のはじまりだと思いますが、それが担当一人だけにゆだねられてしまうと、ネットワークは広がっていかないと思います。お互いに顔を合わせて話し合うことは、家庭教育支援などの活動に関わる上で大切なことです。

Q 活動のPRにはどんな方法がありますか？

A 乳幼児健診や就学時健診、ＰＴＡ行事などの多くの方が集まる会場に出かけて、チラシなど配布する方法があります。また、情報紙などを作成する場合も、自分たちの活動のほか、近くの地域で行われているイベント情報を載せたらどうでしょう。ホームページに案内を載せるときも、パソコンのサイトだけでなく、携帯電話のサイトにも掲載できれば、よりよいのではないでしょうか。

Q 身近な地域で家庭教育への支援を行っているモデルはありますか。

A こちらで紹介した事例にもありますが、地域の家庭教育サポーターなどで構成される「家庭教育支援チーム」が身近な地域で家庭教育支援を推進しています。新潟県内では、小学校や公民館などのスペースをお借りして、家庭教育にかかわる相談会や情報紙の発行、学習機会の企画などを行って活動しています。今後は地域の子育て中の方たちや、学校、地域のニーズや課題からヒントを得て、家庭や企業等へ家庭教育の情報などを届ける取り組みを進めていく予定です。

社会全体で子どもをはぐくむ運動をはじめて、5年がたちました。

5年の間に、様々な団体が参加して、活動内容がいろいろあって、それぞれ立場は違っても、子どもたちに対する思いはみんな同じです。

自分たちのできることから、家庭で、地域で、職場で、みんなが少しずつ子どもに関わっていけるように、周りの人に、働きかけていきましょう。より多くの方が、地域の教育支援等に取り組んでいただき、社会全体で子どもをはぐくむネットワークが広がることを願っています。

一人ひとりが地域の子育てサポーターとなって、今、できることからはじめませんか。

ご意見、ご感想をお待ちしています！

■お知らせ

☆社会全体で子どもをはぐくむ運動のイラストは、運動の趣旨に賛同いただければどなたでも使用できます。
ぜひ、ご活用ください。

☆事例集「はぐくみネットワーク」第４集を発行しました。
ここに掲載した事例の詳しい情報がご覧になれます。
図書館などでも見られます。

■お問い合わせは

新潟県地域家庭教育推進協議会

事務局：新潟県教育庁生涯学習推進課
〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地１
TEL 025-280-5617　FAX 025-284-9396
E-mail:ngt500060@pref.niigata.lg.jp
URL：http://www.pref.niigata.lg.jp/syogaigakushu/